

2025 年 3 月 27 日
フロンティア・マネジメント株式会社
代表取締役 西田 明德

2024 年度 当社取締役会の実効性評価の実施結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指しており、その実現には、取締役会の実効性を向上し、コーポレート・ガバナンスのより一層の実質化を図ることが必要と認識しています。

毎年取締役会の実効性を評価しており、2024 年 12 月期の実効性評価の概要は以下のとおりです。

1. 実効性評価方法の概要

(1) 評価方法

取締役がアンケートの各設問に対して自由記述をするアンケート方式

(2) 評価実施者

取締役（2 名）及び監査等委員である取締役（4 名）

(3) 評価の実施

- ① 2024 年 1 月、評価実施者に対してアンケート調査を実施
- ② 2025 年 3 月開催の取締役会において、アンケート調査結果について意見交換の上、2024 年 12 月期の取締役会の実効性評価の調査結果を確定

2. 実効性評価の調査結果の概要

(1) 取締役、経営陣（執行役員等）に対する実効性のある監督について

取締役会は、(i) 経営戦略、経営計画、重要案件等について必要かつ十分な議論を行っている、(ii) 機関設計の変更、代表を含めた経営体制の変更等を踏まえ、内部統制やリスク管理体制を適切に構築し、取締役や経営陣（執行役員等）に対し、実効性のある監督をしている、(iii) 監査等委員会・内部監査部門と十分連携を取っているといった肯定的な評価が得られました。

一方、以下の意見がありました。

・監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行した初年度であり、運用面で改善の余地がある。

(2) 人材の確保について

取締役会は、(i) 取締役や経営陣（執行役員等）の指名・報酬制度は、当社の企業価値を向上させるために取締役会が取締役及び経営陣を監督するに当たり、適切に設計されている、(ii) 取締役や経営陣（執行役員等）の指名・報酬制度は、当社の人材確保のために、適切に設計されている、(iii) 指名・報酬諮問委員会は、取締役や経営陣（執行役員等）の人材確保について、適切に機能しているといった肯定的な評価が得られました。

(3) サステナビリティに係る取組について

取締役会は、(i)サステナビリティに関する取組み（基本方針、マテリアリティ、推進体制等）について十分議論している、(ii)当社グループの持続的な成長と発展を実現するために、当社が取組むべき長期的戦略の議論をしている、(iii) 豊かな地球環境と持続可能な社会への貢献を果たすために、当社が取組むべき長期戦略を議論しているといった肯定的な評価が得られました。

一方、以下の意見がありました。

・2025 年度は業績回復を図りながらサステナビリティの運営課題に取り組むべきである。

(4) その他

取締役会において取締役が自由独立に発言できること、事務局のサポートを得て執行役員等にアクセスしやすいことは、機関設計が変更されても維持できているといった肯定的な意見がありました。

一方、以下の意見がありました。

・監査等委員会設置会社としてのガバナンスのあり方を引き続き検討・整備していく必要がある。

3. 取締役会の実効性向上の取り組み

「2024 年度 当社取締役会の実効性評価」により認識した課題を踏まえて、当社の取締役会の実効性を更に向上させるために、実施すべき事項を審議のうえ、2025 年度の方針を決定します。

以上